

SHORTSHORTS
FILM FESTIVAL 2003

Short Shorts Film Festival 2003 in Hokkaido

ショートショート フィルムフェスティバル 2003 in 北海道

ニュースリリース

FILM FESTIVAL 2003



お問い合わせは

一般の方からのお問い合わせ先

札幌ショートショート実行委員会事務局

Tel.011-221-5661 (受付時間10:00-18:00)

報道関係の取材に関するお問い合わせ先 写真素材、VTRその他の資料の貸し出しもいたします。

札幌ショートショート実行委員会事務局 札幌市中央区南2条西6丁目南2西6ビル 8階
(株)マーケティング・コミュニケーション・エルグ内

Tel.011-221-5661 Fax.011-221-5662

担当: 佐藤、師田

Short Shorts Film Festival 2003 in Hokkaido

ショートショート フィルムフェスティバル 2003 in 北海道

6月11日(水)を皮切りに、札幌・函館で開催!

4年目を迎え、より、北海道色が強くなりオリジナル・プログラムも多数!

<札幌開催>

開催日 6月11日(水)~6月15日(日)<土曜はオールナイト有り>

場所 アーバンホール<札幌市中央区南3条西4丁目 アーバン札幌ビル7階>

料金 (オフィシャル7プログラム+特別5プログラム=計12プログラム<別紙上映予定表参照>)

前売 1プログラム券 1,300円

3プログラム券 3,000円

VIPパス券 7,000円 (全てのプログラムフリーパス)

当日 初回割引 1,000円 第1回目のプログラムは当日券1000円で販売。

1プログラム券 1,500円

1日券 5,000円

ピヴォ1F インフォメーションカウンター、または

大丸プレイガイド、4丁目プレイガイド、ローソンチケット(L19437)にて5月1日より発売。

◆主催:札幌ショートショート実行委員会/北海道新聞社

◆協賛:はまなす財団/さっぽろ産業振興財団

◆後援:(予定)外務省、文化庁(予定)、アメリカ大使館、北海道、札幌市、札幌市教育委員会、

(財)北海道文化財団、(財)札幌市芸術文化財団、札幌国際プラザ、北海道放送(HBC)、

札幌テレビ放送(STV)、北海道テレビ放送(HTB)、北海道文化放送(UHB)、テレビ北海道(Tvh)、

FM北海道(Air-G)、J-COM札幌、アルバイト北海道、イエローページ、ポロコ、さっぽろタウン情報、

道新オントナ、三角山放送局、FMアップル

◆メディアサポーター:FMノースウェーブ(FM North Wave)

サテライト開場:

<函館開催>

開催日:7月18日(金)~7月20日(日)<土曜はオールナイト有り>(予定)

場所:フライデー・ナイト・クラブ(予定)

主催:函館ショートショート実行委員会

ショートショート フィルムフェスティバルとは？

■ 日本発、国際的なショートフィルムの祭典

日本で初めて本格的な短編をフィーチャーする映画祭として誕生した「Short Shorts Film Festival」。北海道(札幌)では、今年で4年目を迎え、北海道におけるショートフィルムの普及の牽引役として知られてきております。また、本年度は函館でも開催。さらにエリアを拡大し広く北海道にショートフィルムのムーブメントを巻き起こします。

短い作品で、1~2分、長くても30分程度、ジャンルもコメディ、サスペンス、ヒューマンドラマ、アニメーションと多彩なショートフィルムは、短編ゆえのシャープな切れ味と、見終わった後の余韻が大きな魅力です。また、自らの才能をアピールするアイテムとして、欧米では、無名の映画監督がこのショートフィルムをきっかけに一躍スターダムにのしあがるのが珍しくありません。ルーカス、スピルバーグ、ベツソンなどの監督も、ショートフィルムでその才能の片鱗をアピールし、注目されたことがはじまりでした。「Short Shorts Film Festival」は、このようなショートフィルムを通してビジュアルカルチャーの国際的な交流をはかることをミッションとしてスタート。

過去4年間で全国6都市、7会場で8万人以上の観客を動員しました。

★ショートショート フィルムフェスティバルの波及効果！

北海道からもこの映画祭を通して、ショートフィルムの監督達が育ち始めており、SSFFとアライアンスを組む映画祭(ブサン映画短編映画祭やサンパウロ国際短編映画祭など)に招待されるまでとなりました。北海道発のショートフィルムが国際映像交流事業のなかで注目を集めています。また、ブロードバンドコンテンツとしてショートフィルムが採用されるなど(トライビーでのバクーンシアターなど)、この映画祭から生まれたショートフィルム監督の活躍はめざましく、さらに彼らは、こども達への映像教育も行っています。(スクールフェスタ等)北海道開催は4年目を迎える「Short Shorts Film Festival 2003」は、ショートフィルムのムーブメントの中心的存在として、1.人材の育成発掘 2.地域社会との結びつきの活性化 3.文化交流 4.次世代型ビジュアルコンテンツの開発 という4つの柱を中心にさらに成長していきます。

今年の目玉は？

■ 5周年記念開催企画 5名の大物監督のショートフィルムを公開！

MAESTRO SHORT SHORTS (マエストロ・ショートショート)

「Short Shorts Film Festival」は、初年度のジョージ・ルーカス監督作品から続き、著名監督の初期作品を毎年上映してきました。本年度は、5周年を迎えたことを記念して、先日行われたアカデミー賞でもオスカーを獲得した

「戦場のピアニスト」ロマン・ポランスキー監督、「トーク・トゥー・ハー」のペドロ・アルモドバル監督他を含む総勢5人の豪華監督達の初期作品を上映します。

- ◎ロマン・ポランスキー (ポーランド・フランス/代表作「戦場のピアニスト」等)、
- ◎ペドロ・アルモドバル (スペイン/代表作「オール・アバウト・マイ・マザー」等)、
- ◎アレキサンダー・ペイン (アメリカ/代表作「アバウト・シュミット」等)、
- ◎ヤン・クーネン (オランダ・フランス/代表作「ドーベルマン」等)、
- ◎フェルナンド・メイレレス (ブラジル/代表作「CITY OF GOD」等)。

■ アカデミー・ショート・ショート ACADEMY SHORT SHORTS

また、特別プログラムとして、「アカデミー・ショート・ショート」の上映を決定。現在までの米国アカデミー賞ショートフィルムカテゴリーのノミネート作品並びに受賞作品のショートを集め、プログラム化します。現在活躍中の監督達のショートフィルムと、これから注目をあびるであろう若い才能の共演をお楽しみください。

■ 戦争 & 平和・ショートショート WAR & PEACE SHORT SHORTS

「戦争 & 平和」を主たるテーマとした作品を、インターナショナル・セレクションの各プログラムで1本ずつ上映する他、海外映画祭でも話題のヒューマニズムの真髄に迫る作品群を特別プログラムにて紹介。

■ 60セカンド・ショートショート 60 SECOND SHORT SHORTS

究極の1分に凝縮されたオーストラリア生まれの短編シリーズ「ルーニング」も各プログラムに、特別上映として紹介いたします。

■ 札幌(今年は函館も開催)オリジナルなユニークなプログラム!(予定)

札幌からもショートムービーの監督が多く登場し、ブロードバンドへのショートムービーの配信など活躍もめざましく、彼らを中心とした北海道のショートも特集します。また、北海道ならではの企画として、「コリアン・ショート」、「フレンチ・ショート」、「フィルムコミッション・フォーラム」や、「デジタルシネマ・フォーラム」、「北海道セレクション」など、札幌のショートムービーシーンを浮き彫りにする特別プログラムも予定、多数のゲストを招き参加する映画祭を目指します。

現地インディペンデントフィルムメーカーのネットワークを通じ、1300本以上、56ヶ国からの応募作品の中から上映作品を厳選。いずれの作品も、世界の名だたる映画祭のショートフィルム部門で入選するなど質の高い作品群となっています。

上映プログラムについて

● インターナショナル・セレクション《一般プログラム》(全6プログラム)

世界中(世界56か国)から集められた膨大な作品群から、日米の実行委員会メンバーが上映作品を厳選。これが審査対象となる「オフィシャルセレクション」です。また、「Short Shorts Film Festival」は、平和への願いを込めて、各プログラムに戦争をテーマにしたショートフィルムを上映いたします。

● アカデミー・ショート・ショート(1プログラム)

現在までの米国アカデミー賞ショートフィルムカテゴリーのノミネート作品並びに受賞作品のショートを集め、プログラム化します。

・上映予定作品

Quiero Ser	Germany
Election Night	Denmark
Lunch Date	USA
Bunny	USA
For the Birds	USA
Geri's Game	USA

● ナショナル・セレクション(特別プログラム)

日本国籍の作品並びに日本をテーマに制作された作品を紹介。

● フレンチ・ショートショート(特別プログラム)

「クレルモンフェラン国際短編映画祭25周年」を記念した特別セレクション。

● コリアン・ショートショート(特別プログラム)

★ アニマトリクス(特別上映)

<http://www.whv.jp/month/animatrix/>

◆ 特別フォーラム:

- 1) フィルムコミッション フォーラム<北海道FC、札幌FC等(予定)>
- 2) デジタルシネマ フォーラム<稲陰正彦氏、等(予定)>

見所紹介-1 (オフィシャルプログラムの中で見る事が出来ます)

5周年記念開催企画 5名の大物監督のショートフィルム ON THE WAY to MAESTRO !!

5人の有名監督の初期ショートフィルムを紹介! 本映画祭では、過去4年間、ジョージ・ルーカス、マーティン・スコセッシ、ティム・バートン、ジェーン・カンピオン監督など、世界の第一線で活躍する監督たちの初期ショート作品を上映してきました。今年は、5周年を記念して、下記監督の作品を「インターナショナルセレクション」内にそれぞれ1作品上映します。

■ロマン・ポランスキー (ポーランド/フランス)

「ローズマリーの赤ちゃん」(68年)や「テス」(79年)の監督・脚本。

2002年、第55回カンヌ国際映画祭にて最新監督作、「戦場のピアニスト」がパルムドール受賞。

■ペドロ・アルマドバル (スペイン)

メオール・アバウト・マイ・マザーモ(99年)の監督・脚本。00年アカデミー賞で最優秀外国語映画賞受賞。その他、カンヌ国際映画祭 最優秀監督賞受賞など。

■アレクサンダー・ペイン (アメリカ)

「アバウト・シュミット」の監督。この作品でゴールデングローブ賞、主演男優賞と監督賞を受賞。「ギャング・オブ・ニューヨーク」の脚本も手がける。

■ヤン・クーネン (オランダ/フランス)

「ドーベルマン」(97年)で、新しいエンターテインメント・ムービーの旋風を世界に巻き起こす。仏映画界の妖精、エマニエル・ベアール主演のショート作品「Le Dernier Chaperon Rouge」の撮影は、審査員の永田鉄男氏が担当した

■フェルナンド・メイレーレス (ブラジル)

2002年カンヌ国際映画祭の正式出品作品、2002年東京国際映画祭正式出品作品の話題作「CITY OF GOD」の監督。この作品のショートフィルム版を日本で初公開予定。

見所紹介-2 6月15日(日)1回のみの特映

世界最大の短編映画祭「クレルモンフェラン国際短編映画祭25周年」
を記念した特別セレクション<北海道だけの特別プログラム>

【フレンチショートショート】は見逃せない!!!

ショートフィルムのフェスティバルでは世界でもっとも重要な位置を占めている短編専門の映画祭。東京でフレンチショートの特典活動をされるバレリー・デュヴォシエルさんが札幌に来て頂き解説をしていただきます。

<バレリー・デュヴォシエルさんのトーク有り>

1. J'attendrai le suivant (次待ちます)
2003年セレクション (2003アカデミー賞ノミネート) ブラックコメディ
2. fausses alertes (間違った警告)
1999年セレクション サスペンス
3. le reveil (目覚まし時計)
1997年セレクション コメディ
4. tueurs de petits poissons (子魚の殺し屋)
カナルプリュス賞 / SF
- 5: too morose (憂鬱)
1998年セレクション / ダンス
- 6: pourquoi Pasqueu (何故? だって)
2002年セレクション / コメディ
- 7: archi degueulasse (最低)
1999年セレクション(あの「アメリ」のオートリール・トゥー主演)コメディ

SSFFの目的<ミッション>は？

- 1) ショートフィルムの魅力を広く一般に広める<普及啓蒙活動>
- 2) 北海道からショートフィルムを世界に発信していくこと<戦略的広報活動>
- 3) その事を通じ、北海道を広く世界にプロモーションする<地域プロモーション>
- 4) 地域との連携や協力することで、街を活性化させる<地域との交流>
- 5) 新しい文化の創造と新産業の創造<BB産業、映像教育など>
- 6) 国際間・地域間・世代間の交流の促進<国際交流、コンベンション>

札幌ショートショート実行委員会 組織図:

